



令和4年度

北海道霧多布高等学校

# 「浜中学」実践報告



【令和3年度 第2学年時 浜中エコツーリズム研修 より】

## ■ 学校設定科目『浜中学』の目的とねらい

本校では、地域の歴史や文化・資源等について理科・社会科の選択科目や総合的な学習の時間で学習していたが、その成果をより高め、より深い学びを実現するため、教科縦断的・横断的な取り組みを進める学校設定教科・科目『浜中学』を平成25年度に開講した。

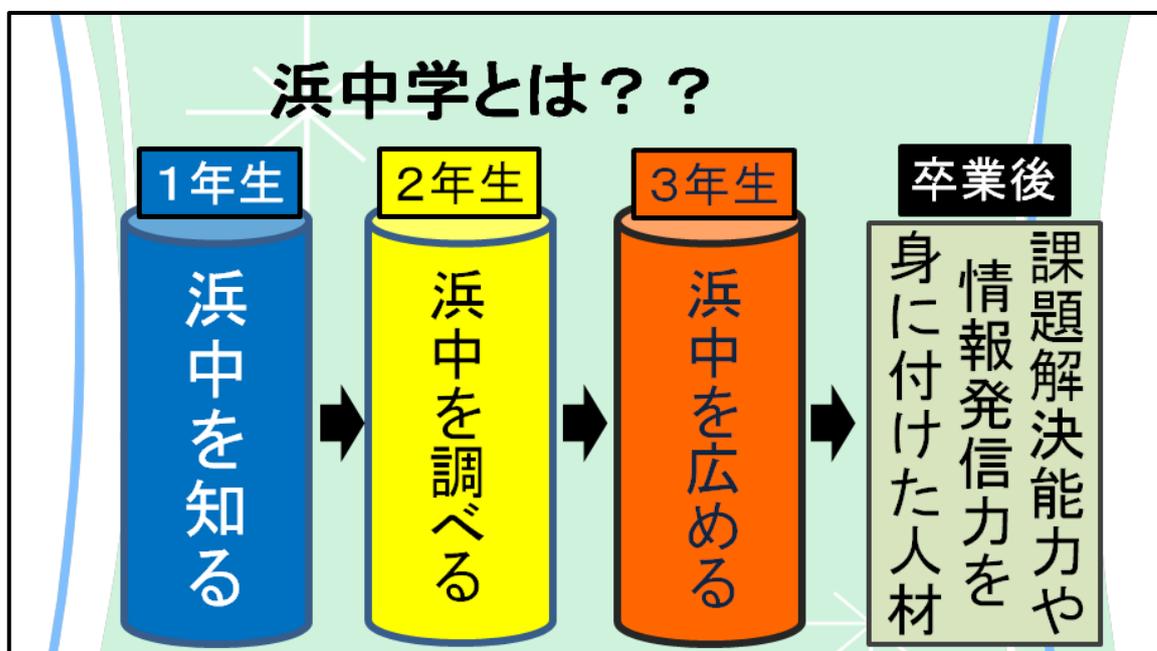
計画段階では、単に地域のことを学び直す郷土学習のイメージであったが、身近に感じられる地域の魅力や諸課題を題材として、生涯にわたり必要とされる学力の三要素を習得し、次代の地域社会を担う一員としての自覚と資質の育成を図ることをねらいとした。

各学年における習得の内容と学習のイメージは次のとおりである。

第1学年では、自分が住む郷土の環境や産業など浜中町の魅力を理解する。（基礎的な知識の習得）

第2学年では、第1学年で得た知識をもとに浜中町における課題を探究し、解決する方法を探る。  
（基礎的な技能の習得）

第3学年では、浜中町の魅力や課題解決策等を発信したり、地域の研究成果をまとめたりする。  
（情報発信能力の習得）



「浜中学」3年間の学習イメージ

# ■令和2年度入学生 『浜中学』 学習のまとめ

## 第1学年 【浜中を知る】

第1学年時は、「自然環境」「漁業」「酪農」「観光」など幅広い分野の講話や体験活動、グループワークなどを通して、浜中町の魅力や各内容における現状について知る活動を行った。その後、第2学年以降の「調べる」内容に向けて、第1学年時の学習で学んだことから、浜中町の課題についての現状を調査し発表する活動も行った。

### 4月 浜中町の魅力を発見しよう！

生徒たち自身で浜中町に関するクイズを作成し互いに解答し合うことで、身近でありながら気付くことができなかった町の魅力の発見につなげることができた。

### 5～6月 浜中町の自然について

霧多布湿原ナショナルトラストの瓜田勝也様をお招きし、環境保全地域である霧多布湿原についての講話を頂き、浜中町の自然環境の現状・特徴について知識を深めた。また、霧多布湿原センターでの写生活動や「浜中町写真コンテスト」と題し、霧多布岬・アゼチ岬の写真を撮影し、浜中町の景観の美しさを体験することができた。

### 7月 郷土資料館からの挑戦状

浜中町総合文化センターの郷土資料展示室を訪ね、展示物や資料に関する問題に答えることで、浜中町の歴史や文化についての知識をより深めることができた。

### 8～9月 浜中町の漁業について

浜中町が実施している出前講座を活用し、浜中漁業協同組合の方々をお招きし、浜中町の漁業の現状や、今後の展望について講話を頂いた。その後、事後学習として浜中町の漁業に関わる課題について互いに共有し、浜中町の漁業の展望について生徒の目線で考察した。

### 10～12月 浜中町の酪農について

酪農分野については、ハーゲンダッツジャパンの星野裕太様にリモートで講義を頂き、浜中町の牛乳の品質について理解を深めた。また、MO-TTOかぜにて浜中町の特産品を利用したピザ・アイスクリーム作りを体験し、特産品である乳製品や肉類などを自分たちで調理・食事することにより、浜中町の特産品の質の高さを実感し資源活用の方法を考察することができた。

### 1～2月 浜中町のまちづくりについて

浜中町が実施している出前講座を活用し、浜中町役場商工観光課の方々をお招きし、浜中町のまちづくりについての理解を深め、今後の課題についても考察した。



## 第2学年 【浜中を調べる】

第2学年時には、浜中町の魅力をより深く理解するために、浜中町で行うことができるアクティビティを体験しながら調査活動を実施した。また、次年度に控えている浜中学報告会に向けて、情報を適切に判断・処理し、他者に分かりやすく伝えるなど、プレゼンテーションをするために必要なスキルを身につけながら調査活動のまとめを行った。見学旅行では、新型コロナウイルス感染症流行により対外的な実習等は実施できなかったが、他地域と浜中町の観光を比較し、浜中町の魅力を活かす方法について探究した。

### 4月 目標・テーマ設定

第2学年のテーマが「浜中を調べる」であることを再確認した上で、どのような調査活動を行うかの計画を立てた。生徒からは、「浜中町を活性化させるためのイベントや施設の考案」や「アクティビティの体験」などの声上がり、それらをもとに調査計画を立案した。

### 5～7月 新たな観光施設・イベントの企画

「仮想 道の駅はまなか」と題し、新たな観光施設の考案をした。建設予定地や施設内のフロアマップなどをグループごとに考え、発表を行った。また、浜中町でできる「新イベントの企画」では、それぞれのグループで浜中町の魅力を伝えるイベントをプランニングし、パンフレットやポスターを作成した。これらの活動を通し、第1学年時に学んだ浜中町の魅力を効果的に発信する方法についてより具体的に考察することができた。

### 8～12月 エコツアーリズム研修・見学旅行（活性化計画）

霧多布湿原センターご協力の下、調査活動を兼ねたデイキャンプを実施した。事前学習から当日まで森田茉莉子様、島崎楽様、伊藤大雪様にご協力いただき、釣りやトレッキング、水中生物調査など浜中町の自然の中でできるアクティビティを体験し、浜中町の魅力を強く再認識することができた。事後学習では、調査結果をパワーポイントにまとめ、わかりやすく情報を発信するスキルを身に付けた。

見学旅行では、愛知県・三重県を訪問し、それぞれの観光地と浜中町を比較し、浜中町を活性化する方法についてまとめ、全校生徒に発表を行った。

### 1月～3月 次年度に向けて

次年度に控えた「浜中を広める」活動に向けて、「観光」をテーマに分野の設定や班員の振り分けを実施した。それぞれの分野における現状や課題を把握し、次年度の活動への展望を見出した。



## 第3学年 【浜中を広める】

第3学年時は「浜中町の魅力を多くの人に知っていただくこと」を最終目標とし、「観光」をテーマに7つの班に分かれて課題を設定した。課題解決に向けて高校生としてできることを考察し、提言をまとめ、報告会で発表を行った。また、11月には霧多布湿原センターご協力の下、提言の内容をイベントとして実現することに挑戦した。

### 4～9月 調査活動、イベントの企画・準備

浜中学報告会・イベントに向けて、全員の最終目標を設定した後、調査活動を進めた。

7月には、霧多布湿原センターの島崎楽様、國井葵様、太田愛梨様、小野明奈様を招いて、イベント内容についてアドバイスをいただいた。「浜中町の魅力に気付いていない町内の方々や、まだ魅力を知らない観光客の方々に知ってもらおう」ことを目的とし、イベント名は、浜中町を発信するという強い思いを込めて「正義のヒーロー浜中報告隊」に決定した。

### 観光情報の発信

他地域と浜中町の観光情報の発信方法について比較・考察し、効果的な観光情報に発信について探究した。

### 自然を活かした観光

アイヌと浜中町のつながりについて探究し、霧多布湿原センターから提供いただいた資料を基に情報収集を行った。

### 観光施設の充実

他地域の施設活用について学び、浜中町に活かす方法を模索した。また、浜中町の魅力を町民の方に再認識していただく方法について探究した。

### 着地型観光にするために

個人旅行者が独自の観光プランを立てやすくなるように、町内事業所に協力を依頼し観光パンフレットやモデルコースを作成した。

### 酪農を活かした観光

牛乳の消費や後継者不足など、浜中町の酪農が抱える問題に着目し、牛乳の効果的な消費方法について探究を行った。

### 二次元コンテンツを活かした観光

現在、浜中町で行われているルパン三世を活かした観光事業をもとに、体験型のプログラムがないことに着目し、ルパン三世の新たな活用方法について探究した。

### 漁業を活かした観光

浜中町の自然豊かな海の魅力を伝える方法について探究し、漁業を切り口にした観光方法について考察した。



# ■令和4年度 『浜中学』 成果報告会 令和4年10月22日(土)

本校が実施している国内環境、国内産業、海外交流の各種視察研修の報告と併せて、本校3年生が3年間の浜中学の成果報告を実施した。今回で8回目となる。

## 【1】『観光情報の発信～浜中町を世界に広める～』

### ○メンバー

上田 心結 澤向 彩圭 豊嶋 憲花 鷲塚 陽太

### ○発表の概要

浜中町には、ルパン三世・水産業・酪農業・自然・食などの魅力があり、これらをより多くの人に知ってもらうためには、観光情報を効果的に発信する必要があると考え、テーマを設定した。

他地域のPR動画やホームページを参考にして、自分たちで浜中町の魅力を伝えるためのPR動画の製作を行った。さらにポスターも自身で写真撮影・作成した。発表では、SNSを利用した現在ある浜中町のホームページを多言語化することによりグローバル化する社会に対応し、観光客数増加の一助になると発案し提言した。

### ○来場者アンケートより

- ・発信の仕方を町に頼ったものではなく、学校独自で作ってもらえるといいな。町民個人の活動のPRに協力して欲しい。
- ・PR動画が盛りだくさん。動画シーンのテンポが早すぎる。
- ・ホームページの改善の中国語、フィリピン語いいと思う。
- ・町のホームページは高校生がデザインすると良いと思う。
- ・PR動画の配信、ホームページの改善は町の承認のもとすぐに対応してもらいたい。
- ・動画、ポスターともに浜中町の魅力がよく表現されており、活用が期待されます。
- ・PR動画はテンポよく多くの良さを伝えることができていると思います。
- ・PR動画が分かりやすかった。・観光業者からのリサーチもしてはいかがでしょうか。
- ・あのポスターさっそく明日から町内に貼って欲しい。良いポスターです。
- ・発表者がとても聞きやすい間合いと発音で感心した。
- ・(手続きが大変ですが)PR動画もう少し”人”の動きのあるコマが欲しい。地域が生きてる感が増す。
- ・PR動画、町ホームページの改善は行うべきと共感。
- ・PR動画と音楽がマッチしていて良い。ポスターはとてもいい。
- ・PR動画が素晴らしい。町のホームページでの活用も考えても良い。
- ・PRビデオ、ポスターなど力作です。多言語版のホームページ作成は大変有効であると思います。PRビデオの多言語版を作ってはどうでしょうか。
- ・SNS等で多数の人の目に留まってもらえる様、努力してください。
- ・SNSを活用するのは効果的だと思います。



## 【2】『自然を活かした観光～アイヌで学ぼう！浜中町！～』

### ○メンバー

梅津 あい 片島 羽矢人 ニツ森 美空 小林 美憂

### ○発表の概要

浜中町の豊かな自然環境とアイヌ文化のつながりについて考察した。アイヌの人々が暮らしの中で利用していた自然資源について調査し、それらがすべて浜中町に揃っていることに気づき、広大な自然の中で五感を使って楽しむことができる宿泊プランを提案した。

生徒考案の宿泊プランは、コロナ禍による地方への注目の集中、アイヌ文化やソロキャンプの人気上昇など社会情勢に合わせて考えられたものである。これらの社会情勢は浜中町にとって好機であり、浜中町の良さを活かし、少しの工夫をすることによって注目が集まる可能性を示唆した。

また、今回の探究活動で身に付けたアイヌ文化の知識を活かし、『アイヌ語カルタ』や『アイヌ神話シアター』を製作し、報告会後に行う「正義のヒーロー浜中報告隊」で展示することについて紹介した

12:15	霧多布温泉センター到着
12:30	昼食(霧多布温泉センター内)
14:00	長靴トレッキング&バードウォッチング
16:00	体験 体験内容を選択可能
18:00	夕食
	入浴(in霧多布温泉ゆうゆう)
	くりもと旅館へ...

・楽器演奏  
・ものづくり体験  
・劇団体験  
・アイヌ語学習  
(アイヌ語かるた)

07:30	朝食(inくりもと旅館)
09:30	カヌー体験(in琵琶湖川)
11:30	昼食
13:00	全行程終了

●旅行サイト・雑誌への掲載  
●ホームページ作成

キャンプ or 旅館

アイヌで学ぼう浜中町！

**アイヌの紙芝居**  
アイヌの神話を紙芝居風の動画にアレンジ

**アイヌかるた**  
アイヌ語で動植物や町の名前を知れる

### ○来場者アンケートより

- ・体験型の発想は大変良いと思います。(雨天時のプログラムもあるといいですね)
- ・アイヌの人からの視点も聞いてみたらいかがでしょうか。
- ・アイヌと浜中町のかかわりは新しい視点かな。
- ・浜中町の自然の良さを上手に伝えてくれたと思います。
- ・アイヌの自然は揃っているが、歴史的な背景がないので難しい気がする。
- ・発想が素晴らしい。今、社会が求めているアプローチがもりこめられている提案だった。
- ・アイヌ文化と浜中町をつなぎ、環境までも意識した発信であり、今後十分活用出来る発表でした。
- ・浜中町にも素晴らしい自然があるのでアイヌからなるものとコラボして欲しい。
- ・浜中町にもアイヌ文化が存在することを昨日知りました。ぜひ様々なところで広めてください。
- ・Good idea!
- ・単なる体験型のプランはよくあるが「アイヌ」の切り口は非常によい着地点だと思いました。参加してみたい。
- ・プレゼンがよくまとまっており、わかりやすかったです。
- ・そもそも浜中町民がアイヌ文化を知らない。しかし発想はいい。
- ・現状をふまえ、浜中町の自然とアイヌのコラボによる宿泊プランは新しいアイディアとして良い提案と思います。
- ・旅行プランが具体的であり、社会情勢にも合わせた内容で良かった。
- ・アイヌ宿泊プラン Good!
- ・白老、阿寒でアイヌ観光であるが浜中でアイヌは？

### 【3】『観光施設の充実～浜中町をずっともっと～』

#### ○メンバー

佐々木 珠李 本田 天斗 小松 廉 竹詰 ゆずか

#### ○発表の概要

浜中町の観光客数を増加させるために、観光施設を充実させる必要があると考え、テーマを設定した。浜中町の自然景観や町並みと調和した施設の活用方法を考察する中で、町内の空き店舗を利用して民泊を街全体で推進する「町ごとホテル」を提言した。

また、観光施設の充実の他に、浜中町民が町の魅力に気付いておらず、魅力を発信する機会が少ないことを問題点としてあげた。そこで、生徒たちは、報告会後に行う「正義のヒーロー浜中報告隊」で四季折々の景観や浜中町特有の写真を飾り、魅力を伝える写真展「浜中町をずっともっと」を企画した。町内の家族連れの方々や観光客が利用する霧多布湿原センターに浜中町の魅力が伝わる写真を展示することにより、浜中町の魅力を多くの人に伝えることができ、魅力を知った方々に浜中町を大切にしたいという思いが芽生えると考え、発表した。

発表の最後には、浜中町の魅力は溢れるほどあるため、その魅力を発信するための「行動をすること」の重要性を強調した。

#### ○来場者アンケートより

- ・既存の施設を活用したアイデアは大変良いです。ルパンに特化したコンセプトホテルというのもありですね。フォトコンテストもありですね。
- ・再利用いい考え方ですね！
- ・町ごとホテル良いアイデアですね。
- ・町ごとホテルで空き店舗の利用，ナイスアイデア。
- ・町ごとホテルおもしろいと思いました。日頃感じていることが発表されていてとてもよかった。
- ・町民が町内の魅力に気づいていない。まさにその通りだと思いました。
- ・空き家の活用は町の活性化にも影響すると考えています。
- ・町ごとホテルの発想は素晴らしい。改めて町のよさに気づいたのはとってもいい。
- ・海外の例を参考に自然と共存する観光の未来について考え自分達の思想の変化をとらえながらの発表が素晴らしかった。
- ・宿泊施設のアイデアは他の所でも活用できそう。地元の人ほど知らないことたくさんありますよね。
- ・エコミュージアムという考え方を参考に。
- ・「浜中町をずっともっと」というフレーズは様々な分野で通じる考え方ですね。
- ・空き家をホテルにする取り組みは面白いと思いました。
- ・空き家活用は空き家対策，観光発展に大変有効なアイデアでぜひ町で検討したいと思います。
- ・町民に浜中の魅力を知ってもらうとっても大事であり「ずっともっと」が必要ですね。
- ・町ごとホテル（清水町も）





## 【5】『酪農を活かした観光～にゆうせいひん de はびらき come come～』

### ○メンバー

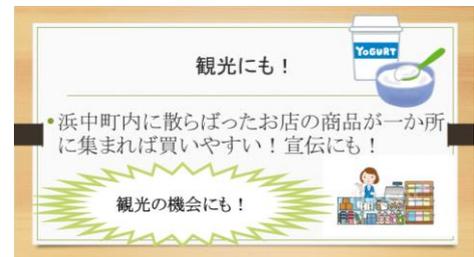
堀江 優愛 大友 真結 佐々木 優弥 三山 茜音

### ○発表の概要

新型コロナウイルス感染症流行により、観光客数が減少し、外食産業の売り上げが減っていることに伴い、牛乳の消費量が減っていることに着目した。新型コロナウイルスに加え、近年若年層を中心に牛乳への苦手意識が増加していることについてデータを用いて問題提起した。

これらの課題に対し、乳製品を多くの人に知ってもらうことにより、牛乳の消費量増加につながると考察し、生徒たちがおすすめする浜中町産の乳製品を1カ所に集めて販売することを企画した。牛乳を加工した乳製品であれば、牛乳に苦手意識を持つ層にも浜中町の牛乳の品質を知ってもらうことができると同時に、町内各地にある乳製品を一カ所で販売することにより、店舗のPRにつながり、観光の活性化になる考えた。

また、乳製品を購入し、浜中町産の牛乳の品質を理解することにより、浜中町の酪農を守りたいという意識が芽生え、後継者不足解決の一助になる可能性を示唆した。



### ○来場者アンケートより

- 乳製品（特にスイーツがあると）の開発は大切だと思います。アンテナショップなんかどうでしょうか。
- 町内外の人に沢山消費してもらえる様なプレゼントのおまけを活用してみたら？
- イベントが楽しみです。食べてみたいです。
- オリジナル商品がとてもおいしそうだった。
- 飲む牛乳から食べる牛乳へ。頑張ってください。
- 乳製品をアピールするイベントの実施をぜひ進めて欲しい。（高校生が中心となって）
- 観光アピールの切り口を酪農としたところがすばらしい。
- 課題を明確（グラフ等）にした上での改善点の検討をしており、生徒のみなさんの学びの深まり（行動力）に感心しました。
- データきた！データがくると安心します。確かにどこに売ってるかわからない。皆さんで協力してPRして知名度アップしてください。
- 酪農と観光をリンクした考え方が良かった。
- ぜひ「どれくらいの乳製品をこの商品で使用しています」とわかるように見える化して売って欲しい。
- 酪農業の課題とその対策がわかりやすくまとまっていました。
- 浜中の乳製品のポテンシャルは高い。
- 早くコロナ禍を脱したい。
- キリタプリンはおいしかった。

## 【6】『二次元コンテンツを活かした観光～君はこの謎が解けるかな？お宝ゲットだぜ！in 浜中～』

### ○メンバー

佐藤 海吏 雪田 さくら 川村 理沙

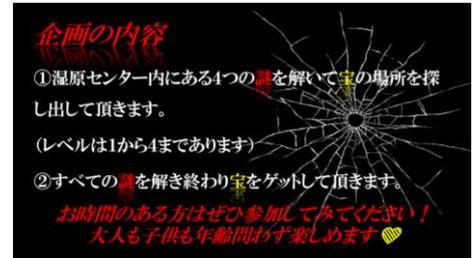
### ○発表の概要

ルパン三世の作者、モンキーパンチ氏が浜中町出身であることから、ルパン三世を活用した観光について考察した。

現在、浜中町で行われているルパン三世を活用した観光事業について調査し、パネルやポスターの展示、ラッピングトラックなどの運行やコラボオリジナルグッズの販売が行われていることなどを発表した。

このように、浜中町では、ルパン三世を活用した観光事業はあるものの、幅広い年齢層に楽しむことができる体験型のプログラムがないことについて着目した。

そこで、ルパンをモチーフにした謎解きゲームを考案し、霧多布湿原センター内で実施することを企画した。体験型のプログラムを実施することにより、熱心なルパン三世ファンだけでなく、子どもから大人まで幅広い層の人が楽しむことができ、浜中町とルパン三世のつながりについてより多くの人に記憶してもらいやすくなること発案した。



### ○来場者アンケートより

- ・体験型の企画はよいアイデアだと思います。
- ・おもしろそう。
- ・湿原センター内だけでなく、町内全体に仕掛ける壮大なものがないのでは。
- ・ルパンを活かした体験企画（クイズ形式）はおもしろいですね。
- ・上手に整理されている。ルパン三世を意識したパワーポイントもいい。
- ・浜中町を活気ある場所にしようとする意気込みを感じた。報告隊楽しみにしています。
- ・なかなかおもしろいアイデアです。
- ・旅行者からアンケート調査しては？
- ・グッズの販売はぜひ！自動販売機を活用して欲しい。岬にも置けるし。「謎解き」の視点すごく良いです！たのしそう。
- ・ラッピングトラック等ルパン三世を生かした取り組みを知ることができました。
- ・ルパンを活用した体験型ゲーム楽しみにしています。
- ・レベル2～4はどんな問題なのかな？
- ・湿原センターにルパンがいない。

## 【7】『漁業を活かした観光～ぎょぎょっとキャッチシャーク～』

### ○メンバー

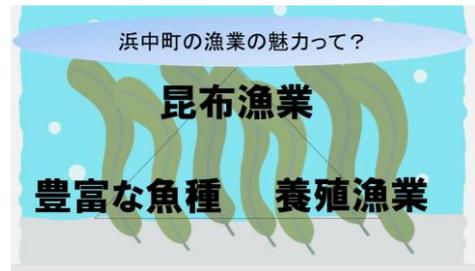
太田 喬凱 対馬 亜侑佳 横山 萌

### ○発表の概要

浜中町の海には栄養豊富なプランクトンがいて、たくさんの魚が生息していることから、漁業が浜中町の基幹産業として成り立っていることについて理解を深めた。

浜中町の漁業が魅力的であるにもかかわらず、その魅力が十分に伝わっておらず、観光と結びついていない点に疑問を抱き、高校生としてできることを考察した。

霧多布湿原センターでイベントをするにあたり、海辺で釣りをする人をよく見かけることがあることから、釣りを通して浜中町の漁業の魅力を知ってもらう模擬釣り体験を発案した。模擬釣り体験に使用される魚は、全て浜中町に生息している魚介類であり、多くの人に魚介類に触れ合う楽しさや浜中町の漁業の素晴らしさを知ってもらうことを目的として準備を進めた。また、同部屋には魚介類の解説パネルを展示し、浜中町に生息する魚についての知識を深めることができるよう工夫した。



### ○来場者アンケートより

- ・ユニークなネーミングがいいと思いました。
- ・買い物できる場所を増やせると言いと思う。
- ・緑色の海の理由がわかりました。浜中の海『みどり』！
- ・海釣りを観光プランに入れるのも一つの方法かなと思いました。
- ・漁業の魅力を勉強されていると思いました。
- ・わかりやすい説明内容となっていてポイントを上手に絞っている。
- ・現状から未来を考え、今自分たちが出来ることはなにか、目標を大切に取り組みを進めていることがよかった。
- ・魚を学ぶことは子どもが学習できるし、楽しめそうですね。
- ・漁業と観光のリンクが良かった。
- ・漁業と観光の結びつきは浜中ならではの可能性だと思います。良いです！！
- ・浜中の漁業について勉強になりました。
- ・ウニをもっともっと食べたい。

## ■ 『浜中学』 報告会～来場者アンケートから～

---

### 浜中学の成果発表について

- ◆町の活性化案として今年は「観光」にスポットを当てた発表だと思います。農業漁業という基幹産業をもとに観光業を発展させるコンセプトなのかな？と感じました。高校生としては難しいこととは思いますが、酪農漁業の6次産業化の新しい取り組みにつながる研究ができると良いと思います。
- ◆3年間の学びが将来に繋がっていく事を願っています。
- ◆学んだ成果を堂々と発表されて立派だと思います。
- ◆堂々と発表されていて将来の浜中のまちづくりに活かして欲しい。
- ◆観光がテーマということもあり、生徒さんが新たに町の魅力を再発見してくれたことが大変うれしい。短い発表時間の中で、ポイントを絞った発表が素晴らしかった。
- ◆表現力が素晴らしい。大変わかりやすく、自分たちの足で情報を収集し、まとめ、未来に生かそうとする姿勢を見ることができ、私たちも勉強になりました。
- ◆浜中町にお金を落としてもらうためには、宿泊してもらうことも大事だと思っています。発表ではごく一部の施設だけでしたが、町全体を見渡し、民泊施設も結構あるので、それもとりに上げるべきではないか。
- ◆各チーム様々なアイディアが出ていて結構楽しかったです。今、釣りブーム（結構長い）ですよ。どこかのチームで「釣りMAP」みたいな作ってみても良さそうな気がします。
- ◆何度か報告会に参加していますが、いつも感動させてもらっています。高校生たちだけでなく、大人が「子どもと一緒に育てよう」という思いが形になっていると取り組みですね。
- ◆3年間の浜中学の限られた時間でよくここまで集められたと感動しています。
- ◆大変素晴らしい成果発表会で驚きました。たくさん素晴らしいアイディアを取り入れ浜中町の発展につなげていきたいと思います。
- ◆すぐにでも実現可能な発表が沢山ありました。
- ◆学習内容とともに、ふるさと浜中の事を想い、考えておられる生徒の姿に感銘を受けました。また、提案内容も浜中町を継承していくために何が必要か若くフレッシュな貴重価値のものすごく高いものであったと思います。
- ◆良く調べてくれてました。ありがとう。浜中町の魅力再発見非常によくわかった。

## 本校の教育活動について

- ◆とても良い教育活動であり、町の将来を担う高校生が自分の町のことを知り、どう未来につなげていくのか、この「学び」がとても大切になると思います。
- ◆先生達の指導が成果につながっていると思いました。
- ◆このような発表会をもっともっと町民にシェアしてもらいたいものですね。
- ◆我々大人が気づかない魅力を気づけさせてくれる、この場だけでなく全町民に発表できる場があるといいなと思います。
- ◆初回の報告会から毎回出席させていただいています。「浜中学」を3年間で学ぶことは、労力以上に地域を知ることによって人生の糧になることと思います。これからも進化することを期待しています。
- ◆今後もしっかりと取り組んでください。
- ◆浜中学を通じて学びの素晴らしさに触れ、他の教科についても学びを拡張し、転換させ幅広い学力を身につけ、進学や社会に羽ばたいて欲しいと考えます。浜中学の学びを是非、様々な方面に生かしていただきたい。
- ◆生徒の3年間の学びを肌で感じる事ができ、霧高生の素晴らしい姿が印象的でした。年々表現力、発信力が向上していることに感激しています。ありがとうございました。
- ◆浜中学も10年を迎えるということで歴史を感じます。これをどう生かせるかを考えながら進めていただければと思います。
- ◆浜中学の3年間でどんどんレベルアップしていると感じました。生徒をどんどん地域に出していく学びの姿は、大規模校では想像以上にハードルの高いことです（何とかやりますが）。これから浜中学がどういう方向に行くのかとても楽しみです。
- ◆ぜひ地域の人、企業で協力できることがあればもっと力になっていきたいと思っています。霧多布高校の生徒さんがうらやましい。ぜひ今後の人生にこれらの経験をいかしていただきたいと思います。
- ◆将来を担う高校生の段階で浜中の発展について考え提案する機会があるのはとても素晴らしい取り組みと思います。
- ◆大変素晴らしく、先進的な教育活動で非常に感銘を受けました。今後もぜひ継続して行ってほしいと思います。
- ◆毎年のチャレンジグルメコンテストの取り組みもとても素晴らしく、実際に商品化もなっており、浜中町の財産となるものと考えています。どのように生かしていけるかをともに考えていけたらと思います。
- ◆霧高でしか体験できないキャリア教育の一つとして今後も大切にしていってほしいカリキュラムだと思います。
- ◆浜中学を学ぶことは生徒にとっては良いこと。今後も続けていただきたい。

# ■正義のヒーロー浜中報告隊 令和4年11月3日(木)～14日(月)

浜中学開設10周年を記念し、報告会で提言した内容を実現するイベントを実施した。イベントは霧多布湿原センターで行い、最終日である11月14日(月)は本校3年生がイベントの運営にあたった。イベント期間中の霧多布湿原センター入館者は約570名で、本校生徒が運営した最終日は、約120名がイベントに参加した。

## ○浜中町を世界に広める

**アイヌから学ぼう! 浜中町!**  
アイヌの物語の展示  
霧多布にいる生き物と  
アイヌの関係について  
などを紹介します。

**浜中町をずっともっとう**  
季節で変わる景色や  
霧多布の景観  
生き物の写真などを  
紹介します。

**浜中町でできること!!**  
高校生が考える  
新しい旅行プランを  
パンフレットにまとめ  
紹介します。

**にゅうせいひん de はびらき**  
高校生が選ぶ  
乳製品を販売します。  
美味しい乳製品を  
沢山食べます。

**君はこの謎が解けるかな?  
お宝ゲットだぜ! in 浜中町**  
謎ときしながらお宝探し!  
4つの謎を解けたら  
ルパングッズをプレゼント

**ぎょぎょとキャッチシャーク**  
釣り体験スペース  
漁業の様子  
説明などします。

**霧多布高校生の浜中町PRイベント!**  
**正義のヒーロー**  
**浜中報告隊**

**場所: 霧多布湿原センター**  
**11.3日～14日**  
9:30～16:00 ※火曜日は休館日  
※14日(月)10:00～15:00は  
霧多布高校3年生がおもてなし!

主催: 北海道霧多布高等学校3学年 共催: 特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト

イベントの広報を担当し、作成した広告を町内全戸に配布した。また、報告会で紹介した自作の浜中町PR動画を入口で再生し、浜中町の魅力を伝えた。

## ○アイヌから学ぼう! 浜中町!



アイヌ語を学ぶことができるカルタ、アイヌ神話シアター、アイヌに関するクイズをシアタールームにて行い、入館者にアイヌと浜中町の関わりについて説明した。

## ○浜中町をずっともっとう



町民に浜中町の魅力を再認識してもらい、町民が魅力を守っていく意識を持つきっかけとなる効果を期待して写真展を設置した。生徒自身が撮影した写真に加え、写真家に提供していただいたものを解説とともに展示した。

## ○浜中町でできること!



高校生の視点から浜中町の魅力を伝えるために観光パンフレットを作成し、来館者に配布した。

<掲載させていただいた事業所等>

- ・旅館くりもと ・霧多布温泉ゆうゆ
- ・寿司ひらの ・北の家
- ・おおともチーズ工房 ・コープはまなか
- ・北太平洋シーサイドライン乗馬クラブ
- ・MO-TTOかぜて ・Land Edge
- ・霧多布岬 ・涙岬

(順不同、敬称略)

## ○にゅうせいひん de はぴらき come come



浜中町の酪農の魅力を発信するために、浜中町で販売されている乳製品や浜中町産の牛乳を使用した商品を湿原センターショップ内でPRし、販売した。

<ご協力いただいた事業所>

- ・スイーツ工房たまる
- ・粉の実
- ・おおともチーズ工房
- ・地域活動支援センター

(順不同、敬称略)

## ○君はこの謎が解けるかな？お宝ゲットだぜ！ in 浜中



ルパン三世をモチーフにした謎解きを湿原センター管内に設置し、正解者には浜中町商工会より提供いただいたルパンフェスティバル限定缶バッジを配布した。ヒントカードを設置するなど、幅広い年齢層に楽しんでもらえる工夫をした。

## ○ぎょぎょっとキャッチシャーク



浜中町で獲れる魚介類をモデルにした模擬釣り体験を実施した。同部屋には浜中町の漁業への理解を深めてもらうことを狙いとした魚介類の解説パネルを展示し、幅広い年齢層に楽しんでもらいながら魅力を発信した。

### ○アンケートより

◆色々な遊びが楽しかったです。(10代男性)  
◆子どもたちが頑張ってくつたのだなと感じました。(50代女性) ◆卒業して浜中町を離れる方もいらっしゃると思いますが、これからも浜中町を若い力でもり立ててくれたら嬉しいです。(40代男性) ◆クイズイベントを親切に案内してくださりありがとうございます。(40代男性) ◆今後も続けてください。(60歳以上男性) ◆どの世代に向けてのコンセプトがしっかりしている。(40代男性) ◆素晴らしかったです。(10代男性) ◆楽しかったです。(10代男性) ◆これからもこのような取り組みを続けてください。(60歳以上男性) ◆全てにおいて色々調べたりして作ったんだろなと思いました。謎解きは後半難しくて…ヒントなくてはできないくらい考えられていてとても良かったです。動画も見ましたが、吹き出しに文字が入ってから消えるのが早くて少し残念でした。浜中町のことをプラスで知ることができました。(40代女性) ◆大変よく調べられていることがわかる内容が多く楽しめました。例えば「ぎょぎょっとキャッチシャーク」は単なる釣りゲームではなく、浜中町と海の生き物との関わりを楽しみながら学べるコンテンツで、展示としてもよくまとまっていました。次回は開催告知を今回より早く出していただけると幸いです。(40代男性)

## ■浜中学を学んで ～3年間のまとめのレポートから～

上 田 心 結

1年生の時に印象に残っていることは、MO-TTOかせてでのピザ作りや文化センターの郷土資料館に行き霧多布の歴史について学んだことです。ピザ作りでは浜中町に長く住んでいてもできないような貴重な体験をすることができました。また浜中町の食材は色々な所で活躍、利用できるなと思いました。郷土資料館での歴史の学習では初めて知ることが多くとても勉強になりました。2年生の時には、浜中町の自然に触れるためのデイキャンプを行いました。霧多布湿原センターの方にご協力していただき事前に私たち自身で計画をたて、浜中町の自然のことについて勉強してからいきました。そこでは普段触れることのできない多くの自然にふれ、初めて目にする植物もありました。3年生では浜中学報告会に向けての準備を行いました。私の班では浜中町をPRする班だったので班のメンバーと協力して一から考えたPR動画を作成しました。多くの人の目に留まるように工夫するのはとても大変でした。またホームページでは多言語を使用できるように改善点をあげました。この浜中学を通して私は改めて浜中町の魅力やこれから対策するべきところに気づくことができました。この3年間で学んだことを活用し今後の生活に活かしていきたいです。

梅 津 あ い

1年生では浜中を知る、2年生では浜中を調べる、3年生では浜中を広めるという3つの学習をしてきました。1年生の浜中を知るでは浜中町の食材を使ってピザ作りをしたり、浜中町総合文化センターの郷土資料館で浜中町の歴史や文化について知識を学んだりしました。浜中町では様々な乳製品や魚などがあり浜中町は環境だけではなく食べ物にも魅力があることを学びました。2年生の浜中を調べるでは湿原センターをお借りしてデイキャンプを行い、自分達でテントを立てたり炭をおこして浜中町の食料を使ったホットドッグを作ったりしました。そしてプレゼンテーションスキルを高めて、「知らせる」「魅力を伝える」「比較と考察」の3つのプレゼンテーション

に挑戦しプレゼンをするにあたり必要なスキルを身につけるための活動を実施しました。3年生の浜中を広めるでは3年間で学んだことを町民の人や町民以外の人達に今年は「観光」を題材に「漁業」「酪農」「ルパン三世」「自然」「観光施設」「着地型観光」「観光情報発信」の7つの班に分かれて課題を設定し提言をまとめ、浜中学報告会を実施しました。それぞれ各班で思いを伝えることができた報告会になったと思います。私たちは報告するだけでなく報告したことを実現させるために頑張りました。今年は浜中学10周年を記念してイベントを開催しました。私たちは、「正義のヒーロー浜中報告隊」として各班で企画を考えました。町民の方や観光客が約500人の方々がイベントに参加していただきました。今回のイベントで浜中町について知ってもらえることができたと思います。3年間浜中学を行って来て最後にイベントを実施することができとてもよかったです。

太 田 喬 凱

1年生の浜中学で印象に残っていることは、ピザ作りや浜中町の景色を観にいったことです。今まで知らなかった浜中町の景色を観ることができてよかったです。また、入学して間もない時にこの学習が入っていたので、話したことのない人と話すことができたいい機会でした。2年生の時は、エコツーリズムが印象に残っています。エコツーリズムではホットドッグを作ったり、休み時間に湿原を散策してカエルを見つけたりなど、たくさんの思い出を作ることができました。修学旅行では、愛知県の魅力をどう浜中町に生かすか、逆に愛知県にはない浜中町の魅力は何か考えることができました。3年生になってからは報告会・イベントが印象に残っています。浜中町の漁業の魅力を班のみんなと考え、報告会で発表することができました。イベントでは模擬釣りをを行い、1分間という短い時間を楽しんでもらうことができました。浜中学を通して初めて気付くことや感じるものがあつたので、今後も浜中学を継続し、意見や提案をすることが大切だと感じました。

## 片 島 羽矢人

私が3年間の「浜中学」で学んだことは、協力しあうことの大切さとそれぞれの意見を多く聞くことです。班や組の人と協力することで自分一人ではできないことができたり、できるようになったりしたので大切なんだと感じました。また、みんなの意見を聞くことでその班の協調性が増し大きなことに取り組めることができると知れました。

1年生の時に行ったピザ作りはみんなそれぞれの個性が出ていてどれも上手いなと思い料理をやってみたいと思いました。2年生の時に行ったデイキャンプではみんなで協力し火を起こしたりして手作りのホッドドッグを作りました。その後に行った釣りなどでは魚をたくさん釣ることができ湿原センター周辺の自然の豊かさを再び実感するとともに感謝しないといけないと思いました。3年生の時に行った浜中学報告会では浜中町の魅力を会場全員に知ってもらいこれから大人になっていく人たちへどれほどこの町に助けられているのかを知ってもらうことができました。この3年間で湿原センターの人たちにはたくさん協力いただいたので感謝をし、その恩返しを働くようになったら、できたらなと思いました。

## 佐々木 珠 李

私が浜中学3年間を通して学んだことは、浜中町の良さや改善点とプレゼンテーションの仕方です。浜中町には、町民自体も気づけていない良さや魅力がたくさんありました。

1年生の時には、ピザ・アイス作りを行い浜中町の食材の魅力について知ることができました。浜中町ならではの海産物や乳製品を使いオリジナルピザを作ったことが記憶に残っています。他にも漁師の方に出前授業をしていただき、第一次産業の魅力や課題を知ることができました。霧多布岬やアゼチの岬に行き、今まで知らなかった観光地にも足を運びました。漁業だけでなく、浜中町で有名なハーゲンダッツの授業も受け、後継者問題などもあり、私たちの世代が受け継いでいかなければいけないと感じました。町民である私たちが、色々なところに行き、様々な実際に体験を

することで後輩や町民、町外も方にも浜中町の魅力を伝えられるかなと思います。

2年生では、浜中町のことをより深く調べるために、デイキャンプをしました。水質調査や浜中町にはどんな生き物がいるのかを知ることができました。そして調べてきたことを多くの人に伝えることができました。その時にどのようにしたらわかりやすく、魅力を伝えられるかなどを考え、パワーポイントやプレゼンテーションの勉強もしました。このことを活かして、3年生では浜中学報告会、湿原センターでイベントを行いました。1から自分たちで考え、困ったことがあれば先生方にフォローしてもらい、どちらも成功させることができました。改めて私たちが浜中町の魅力を知ることができ、町民・町外の方にも魅力を伝えられたかなと思います。それと同時に改善点も見えてきたので今後に生かしていこうと思いました。

## 佐 藤 海 吏

私が3年間の浜中学を通して学んだことは、自分の地域についての関心を深める力を身に付けるということです。何度も言われてきたことです。住んでいる私たちが浜中町の魅力に気づいていない、関心が薄いといったことです。そこで様々なイベントを通してその力を身に付けることができました。まず1年生では、浜中町の特産品を使ったピザ作りをしました。各々で考えた具材でピザを作りそれを食べました。様々な具材を使ったピザはとてもおいしく浜中町の特産品の良さを知ることができました。さらに霧多布岬などの景勝地に行き浜中町の自然の豊かさを再確認しました。岬から観る景色はとても眺めがよく見ていて良い気分になることができました。2年生では1年間での学びをプレゼンテーションで発表しました。パワーポイントを作っていく中で1年間の学びを再確認し、より浜中町の魅力を知ることができました。さらにデイキャンプをして湿原の豊かさや浜中町の乳製品のおいしさを知ることができました。こうして1年ごとに関心を深める力を身に付けることができました。そして3年生の浜中学では、まず浜中学報告会がありました。各班がそれぞれのお題に沿ってパワーポイ

ントを作成していきました。作成していく中でそのお題についてより深く知るとともに町外ではどのくらい人気なのかを知ることができてよかったです。そして今回のイベントでもより深く地域についての関心を深めることができました。今後は、色々なことに関心を持っていきたいと思えます。

### 對馬 朱季

1年生の浜中学では、浜中町の特産物を使ったピザづくり体験を行いました。また、霧多布岬やアゼチの岬に行きたくさんの自然に触れ写真を撮ったり、講話会を通して漁業や酪農について知ることが出来たりしました。2年生の浜中学では、湿原センターの方に協力していただき、デイキャンプを行い皆で牛乳パックを使って作るホットドッグを食べ、湿原の中を探索し浜中町の自然や特産物の活かし方について学び、他学年に報告してきました。3年生の浜中学では、今まで学んできたことを活かして、町民の方だけでなく多くの方に浜中町という町や浜中町の魅力を沢山知ってもらうため、「浜中報告隊」というイベントを企画、報告、実践しました。先生方や湿原センターの方の力を借りつつも私たちが主体となってイベントを成功させることができました。

3年間の浜中学を通して私は、浜中町の魅力を改めて実感するとともに、現在の課題も知りその解決策について、皆と考えることができました。また、学んだことをこれからも、活かしていけるようにして行こうと思えました。

### 對馬 亜侑佳

3年間の浜中学で学んだことは、魅力の再発見や情報発信力です。1年生の時には、岬に行き、改めて浜中町の絶景を目の当たりにして天然の自然が作り出す浜中町の魅力、美しさを身をもって感じました。また浜中産の食材を存分に使ったオリジナルピザを考え、それぞれの個性が輝いたピザを作ることができました。こうしたピザづくりでは食材の魅力を最大限に感じることはできませんでした。2年生の時には湿原センターの方々にご協力をいただき、エコツーリズム活動として湿原の生き物調査を行いました。このような自然、食材、生き物などといった多様性、魅力溢れる環境

は浜中町ならではの強みだと思います。こういったことを多くの人に知っていただくために浜中学の授業を通して発信力を磨き上げることもできました。その中でもプレゼンテーション力は格段にレベルの高いものを身につけられたのではないかと思います。これまでたくさんの発表で年間に何度もパワーポイントを作成してきました。最初は自分の言いたいことを表現することや、伝えることができなかったのですが回を重ねるごとに技術を上げていくことができたと思います。この経験をこれからの生活に活かしていきたいと思えます。

### 二ツ森 美空

私は3年間の浜中学の学習を通して、現状の問題点を見つけ、その改善策を考え行動することの重要性を学びました。1年生の浜中学では地域について知ることを目標に、浜中町でできる体験を行い、歴史について学び、地域の方から漁業や酪農の現状と魅力について教えてもらいました。そこから浜中町の現在について理解し、長所と短所の両方を客観的に見る事が出来ました。2年生では、その長所をどのように広げ、短所をどう改善していくべきかを調べていくことが出来ました。外部から教えてもらうだけでなく、自らが疑問に感じたことを調べることで、自分の考えを深めていくことにもつながったと思えます。他にも、視察研修を通して他の地域と浜中町を比較して見る事が出来ました。比べることによって、浜中町の特徴を明確に知るきっかけになりました。3年生では、今までの総復習として、浜中町の観光について、グループで話し合い、それをまとめたものを地域の方へ発表しました。自分で考えたことをさらに発展させ、地域の活性化のためにどのようにしていけばよいのか具体的に意見を深めていくことが出来ました。高校生活の3年間を使って、地域について調べて体験し、じっくり考える経験はあまりないと思うので、自分にとってとても良い経験になったと思えます。今後も浜中学で学んだことを生かして、自ら問題に対して対処し解決していけるようになりたいです。

## 堀江 優愛

私は3年間の浜中学で、浜中町はとても魅力的なところだということを学びました。出身が網走ということもあり、周りよりも魅力に気が付きやすいだろうと思っていましたが、それでも知らないことや気づけなかった魅力がたくさんあって驚きました。ルパンや漁業についてなど、かなり多くの新情報がありました。一番驚いたのは乳製品についてです。浜中町で作られたものの中に、あんなに美味しい乳製品があるなんて知らなかった。浜中学を通して知ることができて本当によかったなと思いました。また、乳製品の販売をさせていただき、より多くのことを学びました。来てくださった方々にも「美味しそう」といった好感触のコメントをいただけて、多くの人に浜中の魅力を伝えられた気がしてとてもうれしく思いました。浜中学を通して得たものは、主に、コミュニケーション能力と更なる地元愛だと思います。ここで得たものを生かし、将来は物の魅力をわかりやすく伝え届けられる人になりたいです。来年以降も、この学びから浜中町の新たな魅力に気づき、浜中をより好きになってくれる人がいてほしいと思います。そして、いつかこの町が今よりももっと有名になって賑やかな町になればいいなと思いました。

## 本田 天斗

私が、3年間の浜中学を学んで気づいたことは地元の魅力を再認識したことです。その理由として、1年生の時には浜中を知るために地元の食材でピザとアイスクリームを作ったり、地元の酪農関係者や漁業関係者の方々に来てもらい浜中の第一次産業について教えてもらい、アゼチの岬や霧多布岬に行き霧多布の景色を見たりラッコを見ました。

2年生では浜中を調べるための湿原センターでデイキャンプという湿原の中で釣りをしたり鳥の鳴き声や自然の音などを撮りました。このキャンプでは自分たちで焚火をするので火を起こすときに浜中に生息している白樺の木が焚火にいいと知りました。他にも宿泊研修などで北海道には無い取り組み等をほかの都道府県に行きそして学びました。

3年生では1、2年生で学んだこと活かし浜中町を活性化できるような取り組みやイベントを企画、そして発表します。この発表は10月くらいに発表するので2年生の間から何をしようかなどの案を自分の中で決めておき3年生になってから慌てないようにしようと思っていました。

## 雪田 さくら

私が3年間の浜中学を通して学んだことは、より良い情報発信です。浜中学ではたくさんの発表の機会があり発表を重ねていくうち段々とパワーポイントがわかりやすくなっているのを実感しました。では1年生から3年生までの浜中学で学習した内容を振り返りたいと思います。まず1年生では浜中町を知るために郷土資料館、MO-TTOかぜてに行き、当時の歴史や地元の食材を使ったピザなどを作り、浜中町を知りました。浜中町を知るだけでなくクラスの仲も深まった気がします。2年生では浜中町を調べるために湿原センターに行きエコリズムを行いました。そこでは自然をたくさん感じ、浜中町の広大な自然を楽しむことができました。3年生では浜中町を広めるためのイベントを湿原センターにて行いました。高校生活最後の浜中学ということで気合十分でイベントの準備にあたりました。私たちはルパン三世を使い浜中町をより良く広めようと考えました。ルパン三世にちなんだクイズを作り年齢問わずたくさんの人たちを楽しませることができました。このように3年間でたくさんの経験をし、浜中町をより良く発信できたと思います。

## 吉田 乙未

自分は霧高に来て初めて深く浜中町のことを知りました。浜中町の広大な自然や豊かな海産物に伴う観光の課題浜中町を活性化させるための勉強をこの3年間浜中学では学んできました。1年生の時は浜中町を知るために岬に行き写真を撮ったり、総合文化センターの郷土資料館で昔の浜中町を知りました。他にも浜中町の漁業協同組合の青年部の方々から浜中町の漁業の現状や昆布の種類などを教わりました、そして浜中町のホエイ豚やチーズを使ったピザそして浜中町の牛乳を使ったアイス作りをMO-TTOかぜてで行いました。とてもおいしくて楽しかったです。

2年生の時は浜中町のことをさらに知るために役場の方などに話を聞いたり景色を観に行ったりしました。そして3年生になって二年間で学んできたことを広めるということで毎年行われている浜中学報告会と今年は浜中学10周年として正義のヒーロー浜中報告隊を結成しました。まずは、報告会に向けたパワーポイントと原稿の作成を3人から4人の班になってそれぞれでテーマを決めて行いました。そして霧多布湿原でイベントを行いました。この3年間浜中学を学んできて今まで住んできたはずの土地の知らなかったことがたくさん知ることができました。浜中町の観光の課題はとても難しかったけどたくさんの自然や美味しい海産物を知ることができてよかったです。

### 大友 真 結

3年間の「浜中学」を通して私が学んだことは、小学5年生から今までの8年間住んできた浜中町に、まだまだ知らない町の良さや魅力があったということです。私はこの浜中町に引っ越してきた当初は、お店が少ないし遊ぶ場所がないから都会の方がいいと思っていましたが、こうして浜中町に住み、高校生になって「浜中学」を学んでいくうちに、浜中町は自然が豊で空気も綺麗だし、おいしい食べ物がたくさんあり、町民の方々もみんな優しく、とてもいい町なんだということに気づき、田舎も悪くないと思えるようになりました。1年生の時は、文化センターに行って浜中町の自然や歴史について学んだり、漁業や酪農についての出前授業をしていただくなど、浜中町について知ることをメインとした活動をしていきました。2年生では、次年度の浜中学報告会に向けてプレゼンテーションスキルを磨くため、資料の作成や発表を多くしてきました。その経験を活かし、3年生の「浜中学」では今まで学んできた浜中町を広めるという活動をしてきました。

私たちもまだまだ浜中町の知らないこともたくさんあると思いますが、私たち以外にも、もっと多くの方々に浜中の良さなどを知ってもらい、今よりももっと良い浜中町になっていき、観光客や浜中に住む人が少しでも増えていけばいいなと思いました。

### 川 村 理 沙

3年間の浜中学を通して私が一番印象に残っていることは、1年生の頃に行ったピザ作りです。浜中町の食材を使い自分たちでどんなピザを作るか、材料は何を使用するのか、どのくらい使うのかなどを考えてオリジナルピザを作ることができました。初めてピザ作りをしたため生地を伸ばすという作業がとても難しく感じました。当日はピザ作りと並行してアイスクリームも作りました。おいしいアツアツのピザとひんやり冷たいアイスクリームは見事にマッチしていました。次に浜中学を通して学んだことです。浜中町の魅力といえば豊かな自然やおいしい食材です。デイキャンプなどで浜中町の自然の魅力を再発見できたり、浜中漁協青年部の方々に漁業についての講話をしていただいたりして、豊かな水産資源についても改めて知ることができました。魅力を知っていくとともに浜中町の課題を見つけることができました。私たちの浜中学報告会ではそのような課題について様々な観点から解決策を見つけ浜中町民の方々に報告することができました。貴重な自然や、海と山の資源を両方とも兼ね備えている浜中町という町を守っていく、そして発展させていくためにもこの「浜中学」という授業は町の活性化に役立っていると思いました。

### 君 塚 柚 祐

3年間の「浜中学」を通して、今まで知らなかった魅力をたくさん発見することができました。1年生のころは、「浜中町を知る」というテーマで浜中町の特産品を生かし班ごとに分かれ、オリジナルピザ作り、資料館での浜中町についての歴史などたくさんの人にご協力してもらい浜中町の魅力について再発見することが出来ました。

このような体験を生かし3年生では「浜中学報告会」と「正義のヒーロー浜中町報告隊」を集大成として、取り組みました。3年生までで勉強してきた浜中学のことを生かしながら、それぞれ班になり考え悩み報告会に臨みました。考え調べているときにも、浜中町の知らなかったこと、見たことないものがたくさんありました。そのことを吸収し今では、自分のものになったような気がします。ほかの授業とは違い、自分でたくさんの発見

ができアンケートやインタビューなど普段できない体験がたくさんできるので浜中学では、とても貴重な経験ができる素晴らしいものだと思います。

### 小林 美 憂

1年生ではピザ作りと、浜中町の特産品がどのように作られているのかを知ることができ、2年生では自分たちで湿原センターに行き実際にデイキャンプをして川の水質調査をして、調査結果を発表しました。また、自然の中でご飯を食べるなど普段できない体験をしたことがとても印象に残っています。3年生になってからは、1・2年生で学んだことをもとに自分たちで報告会とイベントを行いました。私たちの班は浜中町とアイヌの関連性について調べ、観光にどう活かせるのかを考えてきました。自分たちが観光客だったらどんな体験をしたいかや、コロナ対策の面などを考えながら進めるのはとても難しいと思いましたが、浜中町の地名や実際に見られる花の名前をカルタにしたりアイヌの神話をわかりやすくパワーポイントにまとめたりしました。イベントを運営するのは簡単ではありませんでしたが成功することができました。特に3年生で行った浜中学報告会は、発信する力と情報を収集する力をつけることができ、卒業後社会に出たときに役立つと思いました。

### 小 松 廉

私は、浜中学を3年間通して、自然の豊かさの良さについて再認識することが出来ました。1年生の時では、ピザ作りを行いました。そのピザ作りでは、浜中町で生産される食材を使い、オリジナルのピザを作ろうというものでした。自分たちで食材を考えて、ピザを作ることは楽しかったし、完成したピザは美味しく出来上がり、食材の良さについて知ることが出来ました。2年生の時は、デイキャンプを行いました。デイキャンプでは、湿原センターにいき、ホットドッグ作りと釣りを行いました。自然のなかで食べるホットドッグはとても美味しく自然のありがたみを感じることが出来ました。また、釣りでは多くの魚を釣ることができ、川の綺麗さを実感したとともに、生き物が住みやすい環境であると、再認識することが

出来ました。3年生の時では、これまでに学んできた事を活かした発表会を、文化センターで行いました。各グループで、パワーポイントなどを用いて、それぞれの課題に取り組みました。かなりの練習を行い、発表に挑めたため、町の方たちに、町の魅力や町の改善法などについて伝えることができました。例年通りであれば、発表を行い一段落となりますが、今回は霧多布湿原センターを利用させていただき、写真展やクイズ、疑似釣り体験などのイベントを行いました。どれも、無事に終わることができ、浜中町の魅力について、発見、再確認をしてもらうことができたと思います。このように、浜中学では、色々な事を体験し、多くの人に発信するというものであり、大変でしたが、楽しく行うこともできたので、浜中町を知ることにおいて、最高の授業であったと思います。

### 佐々木 珀 季

私は、この3年間の浜中学を通して、今まで住んでいても気づくことができなかった浜中町の魅力をたくさん知ることができました。1年生の時には、浜中町の食材を使用し、ピザ作り体験をしました。私は、この体験を通して、浜中町にはたくさんのおいしい食材があり、これらは、浜中町外にもアピールすることができる魅力だと感じました。2年生の時には、霧多布湿原でデイキャンプを行い、班ごとに分かれて長靴トレッキングや、釣り体験をしました。この体験では、浜中町には世界に誇れる自然があることが分かったので、この自然は積極的にSNSなどを利用して、広めていくべきだと思いました。3年生の時には、浜中町を着地型観光地にするためにはどうしたらよいかについて考え、2年間で学んだことを土台に、班のみんなと協力しながら、報告会に向けてパワーポイントを作成しました。霧多布湿原センターで行われたイベントでは、自分たちで作成したパンフレットを配布しました。

### 佐々木 優 弥

1年生の頃は「浜中を知る」をテーマに浜中町の食材を使ってピザを作ったり、歴史や産業について学び浜中町を知ることができました。2年生の頃は「浜中を調べる」をテーマに1年生の頃の

知識を使って浜中町の課題を探し見つけることができました。3年生の頃は「浜中を広める」をテーマに1年生から2年生で学んできたことをまとめ、より浜中町を発展するために班に分かれ調査を行い発表することができ、実際に湿原センターさんのご協力のもと自分たちが提案した解決策を形にすることができました。

これらの学びから自分が知らなかったことや浜中町の魅力を再発見することができ良い経験ができたと思いました。また、浜中学を学んでいく中で浜中町の人たちと関わることができ私たち高校生のために一緒に浜中町の解決策に取り組んでくれて、浜中町民の人たちは暖かさを感じることができました。最後に、浜中学で学んできたことをここで終わらせるのではなく、この経験を活かし浜中町に貢献をしていきたいと思います。

#### 澤 向 彩 圭

私は3年間の浜中学で、浜中町の良さをたくさん学ぶことができました。自分自身幼いころから、霧多布湿原センターでの湿原の中を歩いたり、カメラを仕掛けたり、自然を楽しむ活動に参加していましたが、天然記念物の花が咲くことは知っていても、300種類の花が咲くことも、花の湿原と呼ばれていることも知らなかったし、カッコウの鳴きまねを聞いたことがあっても、100種類もの鳥がいることを知らなかったです。改めて調べて、確かな数字を見て、霧多布湿原の良さを、知識を、たくさん学ぶことができたと思えます。1年生では、資料館に行き、ピザを作り、写真撮影をしました。出前授業などで町民の方々に教えてもらうこともあり、知らなかったことを知ることができました。2、3年生で私は、学校関連の動画を作る機会が増えました。デイキャンプの動画を作り、浜中学報告会の動画を作り、浜中報告隊の動画を作りました。今まで自分が学んできたこと、教えてもらった多くのこともまとめながら、浜中の良さを伝えるために、私自身がいろいろなことを調べ、聞き、それをまとめる作業の中で、良さを伝えたいと思っていなければ知りえなかったであろうと思う事をたくさん知ることができました。

#### 竹 詰 ゆずか

私は、浜中学を3年間学んで改めて浜中の魅力や改善点に気付けることができました。浜中学では、ピザ作りをしたり、デイキャンプをしたり、浜中町の観光についていくつかのグループに分かれて、発表・実践を行いました。ピザ作りでは、浜中町のおいしい食材を使いピザを作りに行きました。デイキャンプは、霧多布湿原センターで改めて霧多布の自然の豊かさを知ることができました。浜中町の観光については、私のグループは観光施設の充実、活用について発表しました。観光施設の充実では、町民自体が浜中町の魅力に気付いていないという改善点があり、私たち町民はこの自然や環境が当たり前として生活しているので、難しい改善点だと思いました。私たちは写真を展示し、浜中町の自然や街並みは当たり前ではなく、とても魅力的であることを町民に伝えられるように実践しました。浜中学は、霧多布高校独自の科目で、自分たちの考えを活かし、実践できる、素晴らしい科目だと思っています。他の学年の浜中町について活かせることもとても面白そうだったので、これからも継続してほしいと思えます。

#### 豊 嶋 憲 花

私は3年間の学びを通して、私たちが長年住んでいる浜中町でも、知らないことがたくさんあることを知ることができました。そこで、浜中町のことをもっと知るためにたくさんの活動をしてきました。浜中町にある酪農、産業、漁業に触れるため1年生では、ピザ作りや酪農体験、自然学習などの活動をし、酪農や産業、漁業や自然に触れることができました。2年生では、3年生の報告会に向け自分たちで考え資料作成や、発表に向け準備をしました。発表後は良かった点や改善点を、自分たちで見つけ出し今後の発表に生かせるように頑張りました。そして3年生では集大成として、7つの班に分かれ浜中学報告会に向け班のみんなと協力し、発表やイベントに向け準備を進めてきました。浜中学報告会では、しっかりと発表することができ「イベントが楽しみ」等の言葉をいただくことができました。イベントでは、私たちが最終日を運営し、来場者の方が楽しむこと

ができ、浜中町の魅力を知ってもらうことや、再確認してもらえらるるように工夫しました。その結果、来場者の方に「楽しかった」等の言葉をいただけたことや、浜中町の魅力を来場者の方だけでなく、私たちも再確認することができました。私はこの3年間の活動を今後に生かし、浜中町のことをもっとたくさんの方に知ってもらうことができるように、地域貢献をしていきたいと思いました。また、この浜中学は私たちが浜中町の魅力を再確認することができるとても大事な授業だと思います。そのため、後輩やこれから入学してくる人たちに真剣に取り組んでほしいです。

### 三 山 茜 音

私は3年間の浜中学で地元のことについて考えることができました。1学年時はひたすら浜中町の良いところを探しました。自分達で直接地元に触れるために、ピザ作りやアイス作りをさせていただきました。自分はまだまだ浜中町のことについて全然知らなかったのだなと自覚できました。牛乳や乳製品や昆布や魚介類、自然など、たくさん浜中町の誇るべきときところを見つけることができました。2学年時では浜中町の課題について考えました。どんな事をすれば活性化や持続可能な町になっていくのかなどを具体的に考え、案を出すことができました。3学年時では実際にイベントを企画し、実行しました。みんなで意見を出し合いながら自分の地元の活性化の案を考え、まとめることができました。最後の報告会では、浜中町のことについて今まで学んできたことを生かし、地域に貢献するための提案をたくさんの人に発表することができました。今後どの場面でも、この経験は活かせると思うので、大切にしていきたいです。

### 横 山 萌

私は3年間の浜中学で、浜中町の良さをたくさん学ぶことができました。一番印象に残っている活動は、1年生の時に行ったピザづくり体験です。ピザづくり体験では事前にグループごとに分かれて浜中町の特産品をどのようにして調理するかを考えました。そしてMO-TTOかせてに行き、先生方に用意してもらった浜中町の特産品を使用し自分たちで調理し食材の味を堪能するこ

とことができました。また、浜中町の食材を使い調理することでこんなにもたくさんの美味しい食材があり、観光地だけでなく浜中町には多くの魅力があると新たに感じて感じることができ、とても良い活動になったと思います。

このように3年間の浜中学で事前学習を行い自分たちで調べることで浜中町の現状を知ることができたり、自然体験学習などで様々な自然に触れあうことで新しい発見や知識などたくさん学ぶことができ、霧多布高等学校でしか学べない浜中学という学習を行うことができよかったです。とても良い思い出になりました。

### 鷲 塚 陽 太

私は3年間の浜中学の学習を通して浜中町の魅力が再確認でき、知らなかった魅力も新しく知ることができました。1年生では、郷土資料館や浜中町の岬探索、ピザ作り体験などをし、浜中町の魅力はどんなところか学びました。2年生では、1年生で学んだことを活かし、湿原センターで、デイキャンプをしました。デイキャンプでは自分たちで一から釣り竿を作り、釣りを体験し、湿原にはどんな生き物がいるのか知ることができました。そしてデイキャンプを実際に体験したことを活かし、浜中町の魅力である自然をどのようにPRしたら良いか学びました。3年生では、今までの浜中学で知ることができた浜中町の魅力や、浜中町の課題など浜中町をどのように広めていくかを、浜中学報告会を通して発表しました。報告会でも、ただ、今まで学んできたことを発表するだけでなく、浜中町をさらに良い町にしていくための提案をし、自分たちでホームページのデザインを考えるなどしました。こうした提案が今後浜中町で実際に行われ、浜中町の活性化につながっていくことができたら良いなと思います。

## ■浜中学に携わって

第3学年主任 牧野 兼弥

3年間を通して、生徒が地元の課題を発見し改善に向けて話し合い協議し、提言する取り組みを行ってきました。今回は、浜中学10年目の節目として地域の皆様に高校生の取り組みを直接見てもらうイベントを実施しました。初めての取り組みで不安の多い中、多くの方にお越しいただき無事に実施することができました。このイベントを通して、生徒が多くの知識や地元愛を育むことができたのではないかと感じています。

今年度の浜中学のテーマは「観光」としました。生徒が考える観光とはなにか。発想が豊かになり、あらゆる方面から考え、現実的な観光業の発展について考えてきました。その中で、浜中町の魅力や素晴らしさを生徒自身が感じることができ、「自慢できる町」として地元の誇りを胸に刻んだように感じます。浜中学は可能性が無限大にあると感じます。この浜中学で学んだ課題解決能力や情報発信能力は社会に出て必ず役に立つ力であると確信しています。今後の人生においてこの経験が役に立つことだと感じています。

3年間を通して、多くの町民の方にご協力をしていただきました。誠にありがとうございます。今や、皆様の協力がなければ成り立たないほど大きくなった浜中学です。今後も、地域と連携した魅力ある高校として浜中学をより良い物にしていければと思います。今後とも宜しく願いいたします。

## ■編集後記

総合科（浜中学）主任 寺嶋 優駿

「浜中学」は、地域の皆様のご理解とご協力もあり、今年度で開講10年目を迎えました。

「浜中学」が開講されて間もない頃は、多くの教員がどのような授業を構成するか、より効果的な方法は何なのか四苦八苦しながら考えていたと聞いております。そのような中で、本校教員が試行錯誤を重ねるとともに、地域の方々からのご支援やご協力もいただきながら、現在では本校の教育活動の柱とも言えるほどの教科科目へと成長しました。

「浜中学」を開講する中で、生徒から出てくる「こんなこと知りたい!」「あんなことやってみたい!」という“想い”を“授業”という形にくださったのは、いつも地域の皆様でした。最初は「実現できないかな…」と感じた企画であっても、ご相談した関係機関の皆様には、真摯なご対応をいただき、教職員や生徒の思いつきのような意見であっても、いつも多大なご協力を賜りました。そのような中で地域の温かさとともに強く感じたことは、霧多布高校生への「期待」でした。

これからの「浜中学」に必要なことは、「浜中学」における活動が教育的効果を望める内容であるとともに、地域の方々にとっても相互利益となるよう努力し続けることだと思います。今後も、地域の方々の変わらぬ温かいご支援をいただきながら、浜中学を発展させ、期待に応えられるように、より一層尽力して参りたいと考えております。

浜中町の皆様や関係各位の本校へのご支援に感謝申し上げますとともに、これからも本校生徒のために更なるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。